



三豊工だより

平成25年8月13日

No.109



香川県立三豊工業高等学校

〒769-1689 観音寺市大野原町大野原 5537 番地

TEL (0875) 52-3011

FAX (0875) 52-3012

ホームページ <http://www.kagawa-edu.jp/mitokh01/> E-mail mitokh01@kagawa-edu.jp

連絡・お知らせ用 <http://www.kagawa-edu.jp/mitokh02/> (携帯電話からご覧になれます)

『後悔先に立たず』にならないために

～ルールの遵守・マナーの向上に向けて～

生徒指導部

山本 卓

昨年度のこのコーナーでも書いたのですが、相変わらず中学生・高校生の事故・事件のニュースが多いと思いませんか。ニュースにはならないまでも、香川県内でも万引きや自転車盗、占有離脱物横領等の初発型非行を中心に、かなりの数の高校生が検挙補導されています。また、JRやコミュニティーバスの乗車マナー、通学時の交通マナー等に関して学校に直接苦情のご連絡が入ることもあります。生徒たちは、保育所や幼稚園、小学校、中学校と各段階でよいこととよくないことの教育は受けてきたはずですし、高等学校でも規範意識を高めるような指導をおこなっています。本校でも「ルールを守りましょう。よりよいマナーを身につけましょう。」と、ことあるごとに話しています。にもかかわらず、問題行動が後を絶たないのが現状です。どうしてなのでしょう。

生徒の言動を見ていて、「それはよくないよ。」「やめなさい。」等、声をかけることはよくあるのですが、「えっ、いかなの?」とか「何が悪いん?」という反応をする者が少なくありません。このような言動に接するたびに、社会生活上の常識が身についていないと感じます。好ましくない言動を咎められた経験が少ないのかなというのが率直な印象です。些細なことと思われるようなことでもそれを見逃してしまうと、子どもの中には「これくらいはいいんや」という自分勝手な価値基準が作られます。「これくらい」がだんだん大きくなって、その積み重ねが大きな問題行動へと繋がっているように感じます。未然に防ぐためには、『小さな好ましくないこと』の段階で『しっかり咎められた』経験が必要です。

私は立場上、保護者の方と話をする機会も少なくありませんが、生徒指導上の問題を起こしてしまう子どもたちは、『好ましくないこと』を『見過ごされて』きていることが多いようです。たとえば、「原付の免許を取りたい。」「バイクに乗りたい。」「バイクが欲しい。」という欲求が発生した時、それを実行してしまう子の場合、それは目に見える行動となって表れます。その初期の段階で、保護者は必ず気がつくはずなのです。子どもたちの身近にいる保護者の方が、どこかでブレーキをかけてあげれば、未然に防げる場合が少なくないのです。でも、子どもとの関係悪化を懸念したり、これくらいだったらいいんじゃないかと保護者自身が勝手に判断したりしてそれを許してしまう。このような話を多く耳にします。本当にこれでいいのでしょうか。

子どもたちがさまざまな欲求を持つのは、発達段階から考えるとむしろ好ましいといえます。そして、欲求を充足しようと行動を起こそうとすることも自然なことです。ただ、世の中にはその欲求充足行動に立ちはだかる壁（障壁）があります。壁にぶつかって苦しいという状況をいかに克服していくかを学ぶことが大人になることでもあるのです。克服していく方法はいくつかあるのですが、我慢することや他に欲求の対象を見つけて置き換えたりすることもその一つです。そして、我慢しなければならないことは我慢させるのが親の務めです。

子どもたちの未来は、長く、希望に満ちているはずですが、その未来を暗いものにしないためにも、そして何より『後悔先に立たず』にならないためにも、「ダメなことはダメ!」と咎めてあげるようにしましょう。我慢を覚えさせることも大切なことなのです。子どもに対して「あのときああしていればよかった。」という言葉だけは、言わなくていいようにしてあげましょう。子どもの将来を考えて毅然とした態度で子どもたちに接してください。

各部活動報告

サッカー部 7/20 2種リーグ vs 石田(6対0) 7/22～7/24 大阪遠征(堺ユースフェスティバル) vs ハークス大磯 vs 成美 vs 松原 vs 追手門学院 vs 川西緑台 vs 阪南 vs 甲南 7/27 2種リーグ vs 高松東(7対1) 7/30 2種リーグ vs カタマレ讃岐ユース(4対2) 8/1 2種リーグ vs 飯山(6対0) 8/5 香川フェスティバル vs 坂出(1対0) vs 高松北(1対0) 8/9 2種リーグ vs 高松南(0対1) 8/20 2種リーグ 3部順位決定戦 vs 観音寺中央 8/25, 26 惜夏フェスティバル vs 楊志館 vs 高松東 vs 高松中央	ラグビー部 7/19～7/21 夏合宿 7/31 練習試合 vs 三島 8/7～8/9 夏合宿 8/23 国体四国ブロック大会 vs 徳島 陸上競技部 7/20, 21 第1回香川陸上競技記録会 7/30 第66回全国高等学校陸上競技対校選手権大会(インターハイ)棒高跳び出場 8/17, 18 国体最終予選会 卓球部 7/22 国民体育大会卓球大会(少年の部) 8/16～8/18 西日本高校オープン新人卓球大会 8/22 香川県高等学校夏季強化卓球大会(団体) バスケットボール部 8/24, 25 平成25年度夏季中西讃大会 少林寺拳法部 8/5 昇級試験(3級, 6級) 8/6～8/8 本部全国中学高校生少林寺拳法本部合宿 8/17, 18 全国中学生少林寺拳法大会運営 8/21, 22 校内合宿 登山部 8/9～8/12 夏山合宿 北アルプス(常念岳～燕岳)
野球部 練習試合 8/1 vs 今治東 vs 今治工業 8/2 vs 今治南 vs 松山西 8/10 vs 新居浜西 vs 新居浜西 8/12 vs 藤井高校 vs 藤井高校	
ソフトテニス部 8/15, 16 亀城杯 8/20 夏季大会	

※なお、各部の詳細な予定や報告は各部のHP等を参考にしてください。

各種検定受験報告

英検準2級	1名合格(S3 白川)
第1回漢字検定準2級	3名合格(E3 大西、E3 久保、O3 宮武)
第1回漢字検定3級	5名合格(M3 二宮、S3 東、S3 垣見、O2 池田、O2 山下)
機械製図検定	11名合格
計算技術検定	62名合格／73名受験
情報技術検定1級	0名合格／1名受験
情報技術検定2級	3名合格／5名受験(M2 大谷、M2 岡本、M2 小出)
情報技術検定3級	3名合格／10名受験(M3 石川、M3 田口、M2 口桐)
パソコン利用技術検定2級	2名合格／8名受験(M2 安藤、M2 藤田)
パソコン利用技術検定3級	56名合格／73名受験
3級機械加工技能士旋盤	6名受験
3級機械組立仕上げ	1名受験
3級機械保全	11名受験
第2種電気工事士筆記試験	71名受験(E3 2名、E2 34名、O3 5名、O2 30名)
第2種電気工事士実技試験	53名受験(E3 1名、E2 21名、O3 5名、O2 26名)

交通安全教室

7月4日（木）の3・4限目に観音寺警察署、香川県交通安全推進委員会から3名の講師を招き、交通安全教室を行いました。3限目に観音寺市の交通事故件数や交通ルール、自転車に乗るときのマナーについてクイズ形式の講義を受講しました。観音寺市の交通事故件数は平成24年度で11件の死亡事故、交通事故件数だけでも2000件を上回っており、大変多いということを確認しました。4限目には、シミュレーション機器を利用した自転車検定を実施しました。4名の生徒がシミュレーション体験し、配慮すべきポイントの説明、検定結果の評価をしていただきました。体験を通して、普段自分たちの利用している自転車の乗り方一つにしてもいかに配慮すべきポイントがあるのかということを感じました。



クラスマッチ

7月9日（火）に開催されたクラスマッチの結果です。

総合優勝	総合準優勝	総合第3位
機械科1年	電気科3年	電気科2年

競技別順位

競技 順位	ソフトボール	ソフトバレーボール	ドッジボール	卓球
優勝	機械科1年	機械科2年	電気科2年	電気科3年
準優勝	電気科3年	電子科3年	機械科1年	機械科1年



野球応援！



7月14日（日）、高松市のレクザムスタジアムで、第95回全国高等学校野球選手権記念香川大会2回戦が行われ、本校は観音寺中央高校と対戦しました。初戦を逆転勝利し、勢いのある観音寺中央高校を初日に迎え討つということもあり、本校の選手は少し緊張した様子でした。

初回、観音寺中央高校の勢いある攻撃におされ、失点を重ねてしまいましたが、粘り強いプレーで乗り越え、7回には1年生の藤田陸選手のライトスタンドへのホームランも飛び出しました。スタンドの応援団も大いに盛り上がり、喜びを分かち合いました。

結果は12対1で7回コールド負けとなりましたが、三豊工野球部の勇姿に力が入った応援ができたと思います。



薬物非行防止教室

7月17日（水）4限目、香川県観音寺市警察署生活安全課長の齋藤林治氏を招き、薬物非行防止について講話をしていただきました。導入のVTR「Trap」では、覚せい剤、MDMAの怖さが十分に伝わってきました。

また、香川県においても覚せい剤等による事件が発生していること、薬物は私たちが考えている以上に回っていること、身近なところで入手することができ、危険な状況であるという事実を教えてくださいました。生徒会長の謝辞に「薬物の怖さを十分に感じた」「決して手を出さない」という言葉があり、今回の教室を通して薬物非行防止について理解が深まった様子が伝わってきました。



一日体験入学

7月30日（火）、中学生を対象とした体験入学を行いました。この行事は中学生に本校の授業を体験してもらうことで本校3科の特色を十分に知ってもらい、進路選択の材料としてもらうと行っているものです。今年は13校の中学校から145名の中学生が参加してくれました。参加者は例年の1.5倍で、たくさんの中学生に本校の特色を理解してもらえたのではないかと思います。

参加者は、本校の部活動の中でも全国的に有名なメカトロ部によるロボット相撲等の実演を見学した後、機械科では「溶接実習」「数値制御工作機械の実習見学」「旋盤実習」を体験しました。また電気科では「電気工事」「リニアモータや電磁誘導現象等の見学」「絶縁破壊実験と放電実験の体験」を体験しました。そして電子科では「ポケコン制御実習」「課題研究作品等の展示の見学」を体験しました。

本校は昨年度、50周年を迎え、校訓「事上錬磨」のもと、21世紀を担うものづくりスペシャリストの育成を目指しています。平成19年度には、全国で初めて「ものづくり日本大賞文部科学大臣賞」を受賞するなど、三豊工業高校のものづくり教育は高く評価され、全国的にも注目を集めています。本校の就職内定率は100%を誇り、就職者のほとんどが地域産業を支える人材として活躍しています。今回、一日体験入学に参加してくれた中学生が本校の特色に関心を持ち、入学してくれることを期待したいと思います。



← ロボット相撲実演



機械科
← 旋盤実習

電気科
電気工事実習 →



電子科
ポケコン実習 →

